

平成23年度職員採用試験（大学卒業程度）
水産 専門記述試験（23. 6. 26）

次のどちらか1つの課題について答えなさい

= 課題1 =

○ 水産資源の維持増大対策について

我が国の漁業・養殖業生産量は、昭和59年をピークに減少しており、遠洋漁業、沖合漁業、沿岸漁業のすべてが減少傾向にあります。

また、水産資源の状況と資源減少の原因についての漁業者への意識調査では、88%が水産資源は減少していると回答し、その原因として、52%が水温上昇等の環境変化、30%が過剰な漁獲によるものであるとしています。

広島県においても、漁業生産量は減少傾向にあり、その対策が急務となっています。

そこで、水産資源を維持増大させるためにどのような対策が必要か、あなたの考えを述べなさい。

= 課題2 =

○ 漁業秩序維持のための課題と対策

漁業違反は、近年、漁船性能の向上や通信機器の発達に伴い、高速での逃走や漁具を投棄しての証拠隠滅、取締船の行動の情報交換を行うなど悪質・巧妙化してきています。

このような中、本県では、下記の総トン数29トンの取締船により、漁業秩序維持のため漁業取締を実施しています。

については、漁業違反についての課題と取締船の運航に必要な資格及び効果的な漁業違反の取締方法について、あなたの考えを述べなさい。

取締船の主要目

① 船体

アルミニウム合金製 ステップ船首月ディープVオメガ型
全長：20.71m 幅：4.60m 深さ：2.26m
総トン数 29トン

② 主機関 単動4サイクル直接噴射式ディーゼル機関 2基

③ 性能 航海速力 35ノット以上

④ 船種 第4種船 航行区域 平水区域